

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL)059(227)2932
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,134	28.3	172	399.9	177	365.9	140	613.0
25年3月期第1四半期	884	0.8	34	△31.2	38	△27.4	19	△53.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 137百万円(655.5%) 25年3月期第1四半期 18百万円(△52.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	17 92	—
25年3月期第1四半期	2 51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,859	2,145	44.2
25年3月期	4,714	2,047	43.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,145百万円 25年3月期 2,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	5 00	5 00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0 00	—	6 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	10.2	230	13.3	250	13.6	160	△13.6	20 34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期1Q	8,257,600株	25年3月期	8,257,600株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	392,715株	25年3月期	392,715株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期1Q	7,864,885株	25年3月期1Q	7,864,959株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 企業結合等関係	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策によって円安・株高傾向となり、景況感が上向いてまいりました。また建設業においては、公共投資が増加しており、設備投資に関しても回復の兆しが見られます。

そのような状況の中、当社グループでは、既存事業においては昨年投入した主力商品の新版へのバージョンアップを中心に、着実な販売活動を展開するとともに、株式会社アイデアマンより譲り受けた一括見積りサイト運営事業を5月から開始するなど、新しい事業領域に対しても積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して28.3%増加し1,134百万円となりました。

経費面では、売上の増加にともない売上原価が、一括見積りサイト運営事業の開始にともない販売費が、それぞれ増加しております。この結果、経常利益は前年同期に比して139百万円増加し177百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期に比して121百万円増加し140百万円となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

(建設関連事業)

建設関連事業につきましては、主力の土木工事積算システムの販売が堅調に推移しております。加えて、建設業向け以外の商品に関してもプロジェクト・マネジメント関連の販売が着実に伸びており、また、5月から一括見積りサイト運営事業を開始したこともあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して27.2%増加し863百万円となりました。

利益面では、売上の増加にともなう売上原価の増加や、一括見積りサイトにユーザーを誘導するための販売費が加わったことから販売費及び一般管理費が増加しております。この結果、セグメント利益は前年同期に比して112百万円増加し118百万円となりました。

(設備関連事業)

設備関連事業につきましては、当期より新たに有償サポート・サービスを開始し、顧客満足の向上と差別化に努めてまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して32.0%増加し270百万円となりました。セグメント利益は77.1%増加し59百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて145百万円増加し、4,859百万円となりました。これは主に、現金及び預金が215百万円、のれんが44百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が113百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて46百万円増加し、2,713百万円となりました。これは主に、長期前受収益が79百万円、未払金を含むその他負債が54百万円それぞれ増加し、未払法人税等が43百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて98百万円増加し、2,145百万円となりました。これは主に、四半期純利益140百万円を計上し、利益剰余金39百万円を配当したことなどにより、利益剰余金が101百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.8ポイント増加し、44.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて206百万円増加し、1,192百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は320百万円（前年同四半期は120百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益177百万円や売上債権の減少額113百万円などの収入、法人税等の支払額89百万円や賞与引当金の減少額42百万円などの支出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は77百万円（前年同四半期は90百万円の支出）となりました。これは主に、一括見積りサイト運営事業ののれんの取得による支出52百万円、有形固定資産および無形固定資産の取得による支出12百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は36百万円（前年同四半期は29百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払36百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成25年5月10日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,544,811	1,760,711
受取手形及び売掛金	708,280	595,019
有価証券	715,730	715,486
商品及び製品	1,057	1,408
仕掛品	1,040	2,630
原材料及び貯蔵品	5,756	6,107
繰延税金資産	273,741	286,225
その他	33,874	22,166
貸倒引当金	△350	△300
流動資産合計	3,283,942	3,389,455
固定資産		
有形固定資産	248,744	248,571
無形固定資産		
のれん	330,706	375,695
その他	55,329	56,961
無形固定資産合計	386,035	432,657
投資その他の資産		
投資有価証券	470,168	468,749
その他	329,896	324,577
貸倒引当金	△4,490	△4,590
投資その他の資産合計	795,574	788,736
固定資産合計	1,430,354	1,469,966
資産合計	4,714,297	4,859,421
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,743	85,925
未払法人税等	95,243	51,967
前受収益	696,143	668,727
賞与引当金	130,333	87,955
その他	281,583	335,801
流動負債合計	1,267,047	1,230,378
固定負債		
退職給付引当金	365,214	373,408
繰延税金負債	428	406
長期前受収益	1,028,296	1,107,729
その他	5,747	1,700
固定負債合計	1,399,687	1,483,246
負債合計	2,666,735	2,713,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	419,592	521,212
自己株式	△85,682	△85,682
株主資本合計	2,118,393	2,220,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△70,831	△74,216
その他の包括利益累計額合計	△70,831	△74,216
純資産合計	2,047,562	2,145,796
負債純資産合計	4,714,297	4,859,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	884,177	1,134,261
売上原価	227,352	277,505
売上総利益	656,824	856,756
販売費及び一般管理費	622,305	684,185
営業利益	34,518	172,570
営業外収益		
受取利息	3,881	4,578
受取配当金	152	172
雑収入	940	638
営業外収益合計	4,974	5,389
営業外費用		
支払利息	12	12
障害者雇用納付金	1,440	480
雑損失	0	247
営業外費用合計	1,452	740
経常利益	38,040	177,220
特別損失		
固定資産除却損	329	38
事務所移転費用	13,059	—
特別損失合計	13,388	38
税金等調整前四半期純利益	24,652	177,181
法人税、住民税及び事業税	7,383	48,737
法人税等調整額	△2,500	△12,500
法人税等合計	4,883	36,237
少数株主損益調整前四半期純利益	19,768	140,943
四半期純利益	19,768	140,943

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,768	140,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,322	△3,384
為替換算調整勘定	1,761	—
その他の包括利益合計	△1,560	△3,384
四半期包括利益	18,208	137,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,208	137,559
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,652	177,181
減価償却費	9,245	9,897
のれん償却額	5,277	7,010
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	50
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41,876	△42,377
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,113	8,194
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	249	—
受取利息及び受取配当金	△4,034	△4,751
支払利息	12	12
固定資産除却損	329	38
事務所移転費用	13,059	—
売上債権の増減額(△は増加)	87,224	113,260
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,348	△2,291
仕入債務の増減額(△は減少)	13,172	22,182
未払又は未収消費税等の増減額	△4,918	7,084
前受収益の増減額(△は減少)	1,888	△27,416
長期前受収益の増減額(△は減少)	△11,799	79,433
その他	39,864	66,754
小計	142,161	414,263
利息及び配当金の受取額	3,830	4,524
利息の支払額	△12	△12
移転費用の支払額	△6,959	△7,955
法人税等の支払額	△18,135	△89,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,883	320,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△159,000	△159,000
定期預金の払戻による収入	100,000	150,000
有価証券の取得による支出	△77	△58
有形固定資産の取得による支出	△7,248	△5,902
無形固定資産の取得による支出	△21,534	△6,881
投資有価証券の取得による支出	△1,770	△1,751
のれんの取得による支出	—	△52,000
敷金及び保証金の差入による支出	△1,369	△1,925
敷金及び保証金の回収による収入	1,013	97
保険積立金の積立による支出	△52	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,039	△77,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△242	△242
自己株式の取得による支出	△11	—
配当金の支払額	△28,879	△36,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,133	△36,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,570	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,281	206,900
現金及び現金同等物の期首残高	972,867	985,811
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	34,225	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,010,374	1,192,711

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成 24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	693,833	183,159	876,992	—	876,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,363	1,800	4,163	△4,163	—
計	696,196	184,959	881,156	△4,163	876,992
セグメント利益	34,023	21,426	55,450	△5,277	50,172

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成 25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	863,983	270,277	1,134,261	—	1,134,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	900	—	900	△900	—
計	864,883	270,277	1,135,161	△900	1,134,261
セグメント利益	118,515	59,332	177,848	△5,277	172,570

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建設関連事業」セグメントにおいて、事業譲受によりのれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、52,000千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 企業結合等関係

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社アイデアマン
事業の内容	一括見積りサイトの運営及びホームページの制作

(2) 企業結合を行った主な理由

太陽光発電装置を中心とした一括見積りサイト運営事業を継承することで、当社グループの建設、設備業者向けサービスを拡充するとともに、本事業の拡大を図ってまいります。

(3) 企業結合日

平成25年5月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式会社アイデアマンを分割会社、当社を継承会社とする会社分割（吸収分割）

(5) 企業結合後企業の名称

株式会社ビーイング

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得事業の業績の期間

平成25年5月1日から平成25年6月30日まで

3. 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得の対価

現金	40,000千円
取得に直接要した費用	12,000千円
取得原価	52,000千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

52,000千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却